



Leading Edge



Greeting

新年、あけましておめでとうございます。昨年は多くの方々にご支援いただき、去る 12 月に無事に一周年を迎えることができました。季節報も春夏秋冬一周りし、第 4 弾になります。

今シーズンは、都内で JAA Meeting を開催し、JAA の 1 年間を会員の皆様と振り返りました。また、JAA のさらなる発展を目指して体制を一新することとなりました。1 年間の活動により築いた基盤をより強固なものにするため、活動内容をさらに広げて行きたいと思っています。今後共ご支援ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

Contents

1. 会長挨拶
2. 協会の目的
3. 活動報告
4. JAA Meeting - Winter 2014 in Tokyo
5. 「BOAT CLUB」1 月号
6. 1 年の総括
7. Airboat Tips
8. 今後の予定

1. 会長挨拶

新年、明けましておめでとうございます。昨年は組織としてまだまだ未熟ではありましたが、多くの方々のご協力を得て、少しずつではありますがエアボートの魅力をお伝えできたのではないかと思います。

エアボートを根付かせるためにはまだ時間がかかるとは思いますが、根気強く活動が続けてまいりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2. 協会の目的

Japan Airboat Association は「日本国内におけるエアボートの普及や安全管理」を目的として活動を行っています。また、この目的を達成するために以下の 5 項目を柱に活動していきます。

Popularization: 各種イベントの実施

Safety: 航行マナー講習、整備講習の実施

Leisure: レジャー用エアボートの提案

Rescue: 救助用エアボートの提案

Volunteer: エアボートによる地域貢献、災害時の救助活動の実施



参加者には JAA カレンダーをプレゼント！

3. 活動報告

今シーズンは、JAA としての 1 年を振り返り、活動報告を行う場として、都内で JAA Meeting 2014 Winter を開催しました。

- ・ JAA Meeting 2014 Winter
- ・ 2015 年の新体制に向けた話し合い

4. JAA Meeting – Winter 2014 in Tokyo

12 月 13 日（土）に市ヶ谷で JAA Meeting を開催しました。

今回は、夏のイベント等に時間的・距離的に参加するのが難しかったという声をお聞きし、参加しやすい都内でイベントを行う運びとなりました。場所の都合上、エアボートの実機を出動させることはできなかったのですが、1 年を通して JAA が行ってきた様々なイベントや活動を報告する場として、大変貴重な機会となりました。また、エアボートに興味を持つ方々、特に船舶や技術開発に詳しい方々にお集まりいただいたことで、とても濃密な時間を過ごすことができました。



大きなスクリーンで 1 年間の活動報告

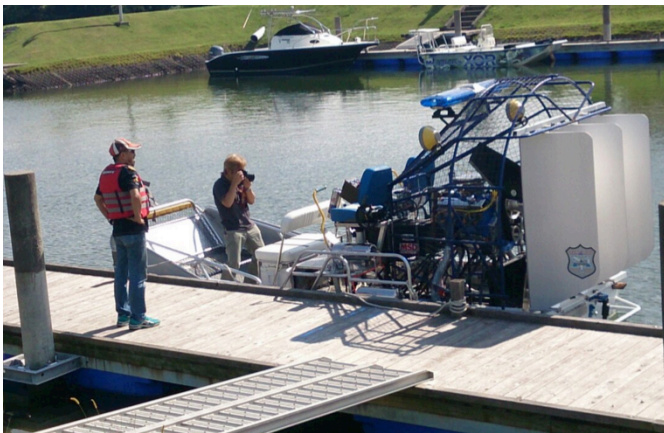


一足早く、新体制を発表

5. 「BOAT CLUB」1月号

舵社の出版するモーターボートの専門誌「BOAT CLUB」の1月号にエアボートの特集記事が掲載されました。特集では、JAA会員の佐々木氏が製造したFA-2が詳細に紹介されています。ご興味のある方は、ぜひ舵社のウェブサイトをご確認ください！

<http://www.kazi.co.jp/marine/boatclub/2015/bc201501.html>



「BOAT CLUB」の取材風景

6. 1年の総括

Japan Airboat Associationは2014年12月7日をもって1周年を迎えました。おおよその活動報告は毎回の季節報でご報告していますが、改めて2014年の活動を振り返りたいと思います。

まず、JAAのメインの活動となっているイベント開催ですが、2014年は4回開催しました。

- ・ お台場（BBQパーティー）
- ・ 猪苗代湖（試乗会）
- ・ 浜名湖（試乗会）
- ・ 市ヶ谷（交流会）

市ヶ谷のイベントではエアボートを持って行くことができませんでしたが、それ以外のイベントでは実際にエアボートの迫力を体感していただくことができました。イベント内容としては、BBQをはじめとしてアウトドアで行うものが多く、普段自然とあまり触れ合うことのない参加者の方々からも大変好評をいただきました。イベントの開催地の選定をしても思うのですが、東京から少し離れたところにはたくさんの自然が広がっています。エアボートのイベントとしてはもちろんですが、今後のイベントも自然と触れ合いながらリフレッシュできるような企画を織り交ぜていきたいと思っています。

また、イベント以外にも広報活動や視察で、様々な場所を訪れました。

- ・ 株式会社モリタ三田工場
- ・ ボートクラブカナル
- ・ 天竜川
- ・ その他の湖川

訪問内容はエアボートを広めるための広報活動からエアボートを操縦することができる場所の選定など多岐に渡りました。どの場所でも新たな出会いがあり、少しずつ裾野が広がっていることを実感しています。特に、エアボートを操縦できる場所の選定作業は、国内のエアボートの普及にとって大きなカギとなってきますので、今後も精力的に活動をしていきたいと思っています。

JAA役員のメンバーはこれらの活動以外にもエアボートの普及につながる活動を日々手探りで行っています。2015年は役員を增強し、さらに活動の幅を広げていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

7. Airboat Tips

皆さん、こんにちは。

Airboat Tips第4回です。前回までに揚力の基礎をお伝えできたと思います。

前回、揚力とはどんなものなのかをお伝えさせていただきました。なかなか説明が難しいところではありますが、私の稚拙な説明でご理解いただけたでしょうか？

さて、前準備はこの辺にして、これからプロペラについて話を進めていきたいと思います。プロペラは簡単に言うと、前回までにお話した揚力を推進力に使う為の装置と考えて頂ければと思います。飛行機の翼は揚力を上下方向に使い、プロペラは前後方向に使う。正確ではないですが、こんなイメージです。

皆さんもプロペラをご覧になったことがあると思います。想像してみてください。おそらく、数枚の羽（ブレード）が一つの軸に繋がっているものを想像されるはずですが、このブレード1枚1枚が、これまでお話ししていた翼と同じ働きをします。これはどういうことかと申しますと、図1をご覧ください。

プロペラは回転するものだということは皆さんもご存知かと思います。エンジンの回転を伝えることでプロペラは回転します。この回転によってブレード1枚1枚が空気の中を進んで行くことになります。つまり、ブレードの断面も翼型をしているか、回転方向に対して迎え角が付いていれば、揚力が発生するわけです。この時前後方向に揚力が発生するようにブレードを2枚、3枚、4枚と取り付ければプロペラになります。

エアボート推進力を生み出すのも、まさにこのプロペラなのです。

8. 今後の予定

2月

アメリカ視察

3月

アメリカ視察報告会

4月

BBQ パーティー

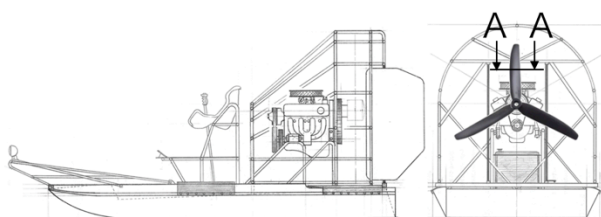
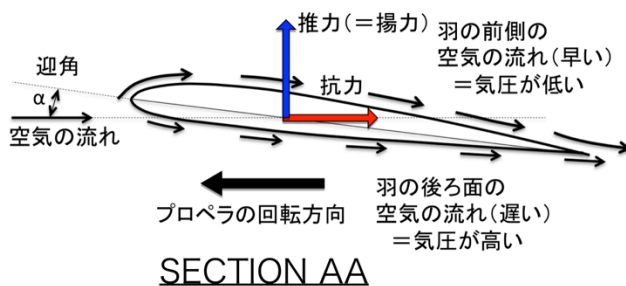


図1